

第4学年 道徳科学習指導案

令和3年9月25日(土) 3校時

第4学年 1組山根 千尋 2組神尾 恵美 3組星野 洸子 4組渡邊 俊明

- 1 主題名 【 さまざまな思いやり 】 B (6) 親切、思いやり
 2 教材名 「思いやりのかたち」
 3 ねらい 視覚障害者の女性に手を貸す「わたし」や、点字ブロックを考案した三宅さんの姿を通して、人を思いやることについて考えさせ、相手のことを自分のこととして想像し、親切な行為を進んで行おうとする実践意欲と態度を育てる。

4 展 開

	学習活動と主な発問 ◎中心発問 ○主な発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点
導 入	1 身の回りを振り返り、みんなが生活しやすいように工夫されたものを思い出す。 ○点字ブロックのように、様々な人が生活しやすいように工夫されたものを知っていますか。 ・駅の券売機の点字・スロープ・誰でもトイレ など	・バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方が生かされた物・施設などを写真を使って紹介する。
展 開	2 「思いやりのかたち」を読んで話し合う。 ○三宅さんと「わたし」の「思いやりのかたち」を比べてみましょう。 【同じ】 ・目の不自由な人を助けたいという気持ち。 ・自分にできることをしているところ。 【ちがう】 ・助けている人が世界中の人か、目の前の人か。 ・物で助けるか、人を助けるか。 ○「わたし」が、いつもの帰り道がとてもすてきな場所に思えたのは、どうしてでしょう。 ・勇気を出して声を掛けて助けたら、女の子が喜んでくれたから。 ・思いやりのある行動ができて、自分がすてきな人になったような気がしたから。 ・自分でも、誰かを助けることができると分かったから。 ・「思いやりのかたち」を表すと、相手だけでなく、自分も気持ちがいいことが分かったから。	・三宅さんと「わたし」は、「思いやりのかたち」の表し方が違うことに気付かせる。 ・表し方が違っても、「人を助けたい。」という気持ちは同じであることに気付かせる。
終 末	3 今までの自分を振り返り、思いやりについて考える。 ◎「人を思いやる」とはどういうことでしょうか。 ・相手のことを考えて、行動すること。 ・相手も自分も気持ちが良い行動。 ○自分のできる「思いやりのかたち」とはなんでしょう。 ・こまっている友達にやさしく声を掛けて助ける。 ・家族のために・・・をする。	・三宅さんの業績や「わたし」の姿、自分自身の経験を振り返り、「思いやり」を自分事で考えさせる。
終 末	4 学習の振り返りをする。 ○今日の学習を通して考えたことを書きましょう。	・目の不自由な人だけでなく、耳の不自由な人、言葉に壁がある人など、様々な人たちと共に生きていくことに気付かせる。

5 評価

人を思いやるということはどういうことかを考え、自分の考えをもつことをできたか。